

1 背景と現状

現大型表示装置は庁舎建設当初から稼働しているため旧式化・老朽化している。また、災害対策本部で被災現場の状況を画像、映像等でリアルタイムに把握する必要があるとともに、その情報を一元的に管理できる体制が求められている。



2 解決したい課題

- ① 情報通信技術の進歩に対応した映像機器を導入したい
- ② 避難情報発令に必要な情報を、迅速に集めたい
- ③ 災害現場等の最新情報を即時に共有し、地図上で一元的に管理したい

3 実現したい未来

- ① 旧式化・老朽化した既存大型表示装置を更新することで、防災のDX化推進に欠かせない設備面を強化し、災害対応を安定的に行える体制を構築したい。
- ② 災害対応時に必要となる現場の状況をリアルタイムで確認でき、災害情報、被害情報を一元的に管理できる体制を整備することで、迅速な意思決定を行うための一助としたい。

4 想定する解決策や技術

- ・災害対策本部へのデジタル人材、技術職の確保
- ・カメラ、ドローンの活用
- ・災害被害情報一元管理システムの導入

